

2016年3月17日（木曜）

全労金2016春季生活闘争ニュース・第13号

全労金は、第2回中央闘争委員会を開催し、
回答期限日に向けた闘いの進め方を確認しました！

◎連合「第1先行組合（3月16～18日）」の回答が示され、「底上げ・底支え」に向けた取り組みが進められています。

連合は、2016春季生活闘争における最初のヤマ場を迎えるにあたって、神津会長から“底上げに向けた今後の取り組みについて”と題し、「我々は今次闘争のキーワードを『持続性』『月例賃金』『広がり』『底上げ』と定め、すべての働く者の処遇の『底上げ・底支え』『格差是正』の実現をめざしている。そのためには、本日までに示された回答内容を、続く中堅・中小組合はもとより、未組織を含めたすべての働く者の賃金引き上げに確実に波及させなければならない」等のアピール文を発信しています。

大手組合の回答内容は新聞等でも報道されていますが、パート社員に対して正社員以上の賃金引き上げを回答している組合もある等、「底上げ・底支え」の取り組みは確実に進められています。

◎第2回中央闘争委員会を開催し、「当面の取り組み（その3）」を確認しました。

全労金は、3月16日に第2回中央闘争委員会（第8回中央執行委員会）を開催し、連合の情勢、最低賃金に関する中央労使協議の状況等を報告することとあわせて、各単組の要求内容とこれまでの交渉状況を共有した上で、「第三次交渉期間（3月22～29日）」における闘いの進め方等を示した「当面の取り組み（その3）」を確認しました。

具体的には、①全労金2016春季生活闘争ニュース等の発行予定、②「第三次交渉期間（3月22～29日）」の対応、③合意・妥結に向けた対応、等を確認しました。

特に、「第三次交渉期間」は、これまでの交渉を踏まえ、労働組合の要求に対して、金庫の姿勢を明確にさせるとともに、要求通りの考えが示されない場合は、「どこをどのように改善すれば、要求通りに回答できるのか」等、回答期限日に向けて断続的に具体的な交渉を設定する最終交渉期間としています。

組合員のみなさんは、単組が発行する春闘速報等を注視することとあわせて、連合に結集する仲間との「共闘」を踏まえ、私たちの基本スタンスである「底上げ・底支え」「公正処遇」の実現に向けて、単組闘争委員会とともに闘いを進めましょう！

※ 全労金ホームページでは、最低賃金の協議等を随時、更新しています！

www.zenrokin.or.jp もしくは、全労金で検索を！

※ 次号は3月18日（金）に配信予定です。

以 上